

第7期東京芸術文化評議会 文化政策部会での主な議論

第7期は、令和元年度1回、2年度に3回の計4回開催（令和2年度はオンライン開催）

都の文化政策の今後の方向性について

- 「芸術文化面における東京の状況」と「求められる方向性」を整理
＜求められる方向性＞
 - ・都市力の強化
 - ・ネットワークの強化
 - ・参加・体験機会の拡充
 - ・テクノロジーの活用
 - ・社会課題の解決への貢献
 - ・あらゆる主体との連携
- 「未来の東京」戦略等と連動し、東京の成長に寄与し、2020大会のレガシーとなる今後の文化政策を検討する
- 文化政策の推進にあたっては、あらゆる主体と連携しつつ、都立文化施設の資源とネットワークを最大限活用していく
- 民間人材やSNSなどの多様な媒体を活用し、ターゲットに応じた「届く広報」を展開していく

新たな文化戦略の検討について

- 新たな都の文化戦略（今年度策定予定）を検討
 - ※対象期間は2022年度から2030年度まで
- ウィズコロナ・アフターコロナ、オリパラレガシーを踏まえた文化戦略とする
- 「都の文化政策の今後の方向性」や「アートにエールを！東京プロジェクト」の成果を盛り込む
- 新たな文化戦略について、第8期東京芸術文化評議会において引き続き検討